

祈り V

中国山地を錦秋に彩った木々は今、静かに幕を下ろし、次の場面が変わろうとしている。平成 29 年の紅葉・黄葉は鮮やかで、平成 28 年より素晴らしかった。静かに紅葉を眺め季節の移ろいを感じていると、心のスクリーンに今までの出来事がソフトフォーカスやセピア色に映し出される。次から次へと高速に低速に映し出される。たまらなく懐かしい画面ばかりである。現実の光景と思い出の画面が混ざり合い、時には涙腺が緩んでしまう。

今までに幾度も書いたが私は大田舎の育ちである。冬は大雪で炬燵育ちである。よくもあんな環境の中で育ったものである。炬燵も電気ではなく炭火である。寝る時は湯たんぽを母が入れてくれた。温かい思い出である。しかも私は 8 月生まれで夏は好きであるが、冬は大の苦手である。夜に降り続く雪の中に、隣家のほのかに浮かぶ橙色の火影を忘れることが出来ない。これもまた私の原風景である。

秋や冬の朝の腹部の触診は手が冷たく、患者さんに申しわけないという思いをしている。電気ストーブで手を温めて触るようにしているが間に合わない。数人の方を診察していると、患者さんの体温をいただき次第に手が温かくなり、支障がなくなる。これも患者さんと医師のおもいやりの交換の場であると思っている。患者さんは「冷たいけれど我慢するからしっかり診て下さい」と応える。それに対して私は申し訳ないと思いながら一生懸命に指先に神経を集中して診察させてもらうのだと勝手に思っている。

最近の若い先生方は聴診や触診をされないとい

飄

々

広報委員

渡邊 恵幸

うことをよく聞く。患者さんの顔を見ないで PC の画面とだけ向き合っておられるとのこと。何かすっきりとしないのである。私たちの時代は恩師や上級医員の先生方から「医師とは」「医師としてのあり方」「患者さんに対応する方法」「診療・検査の技法」などを厳しく、そして優しく教えていただいたものである。患者さんから「このように聴診器を当ててもらったり、触ってもらったりしたのは本当に久しぶりです」という言葉を幾度も聞く。今、米国や英国ではどんな診察スタイルなのであろうか。PC 一辺倒なのだろうか。教えてもらいたいものである。

このような診察方法で誤診をしたら医師免許を取り消されることもあるのではないかと思うことがある。

人間として医師としてご指導いただいた北里大学医学部名誉教授の岡部治弥先生が、平成 29 年 8 月に 93 歳の生涯を閉じられた。本当に恩師という名に相応しい先生であった。親分肌で面倒見がよく、時には激しく怒られたこともある。思い出は尽きない。

私が開業した年の 5 月に、先生ご夫妻が山口に立ち寄ってくださった。その時、私がレジデント、研究員時代に先生が使用しておられた聴診器を持って来て下さった。形見になってしまったが桐の箱の中に収め、私を温かく見守ってくださっている。「人生とは人との出会いである」ことを痛感する。今は先生のご冥福をお祈りすることと素晴らしい恩師に出会えたことに、ただ感謝するばかりである。

内視鏡を始めて43年が過ぎた。ご指導をいただいた先生方の顔を思い出しながら、今も頑張っている。市健診に胃カメラ検査が取り入れられ需要が多くなった。診察の合間に検査をするから、どうしても日に1～2名になってしまう。それに加え読影の先生にも分かるような写真を撮らなければならないというプレッシャーが覆いかぶさる。しかし、読影会で他の先生方の写真を見ることは、自分の撮影の欠点を知ることができ、また、刺激にもなる。

いつからだろうか、検査台の前にスコープを持って向かうとき「どうか患者さんに苦痛なくスムーズに検査が終わりますように」と祈っている。円滑に終わった時は誰にともなく感謝する。そうでなかった時は反省をする。これは小林弘幸先生が今年度の県民公開講座の時に述べられた自律

神経のバランスを保つことに役立っていると思っている。

平成29年11月26日に島根県益田市にある秦佐八郎先生(1873～1938)の生家に向かった。先生は細菌学者でドイツのワッセルマンの研究室で、当時、治療薬がなかった梅毒に対してパウル・エールリヒとともにサルヴァールサンを開発された。先生の生家の裏山を彩る紅葉を見たかったからである。益田市の隠れた紅葉の名所である。いつものように戸河内ICから益田に向かったのであるが、広島側には雪が薄く積もっていた。雪の白さと紅葉の彩りが鮮やかに脳裏に刻まれた。

間もなく、この地方は白銀の世界に変わっていく。

お知らせのご案内



平成29年度 山口県医師会男女共同参画部会総会・講演会

日時 平成30年3月11日(日) 14:00～
場所 山口県医師会 会議室(山口県総合保健会館 6F)

14:00 平成29年度総会

14:30 特別講演

まだまだ知られていない臨床法医学の仕事

山口大学大学院医学系研究科法医学講座 准教授 高瀬 泉

15:50 特別企画

子どもをみまもる現場より

山口少年鑑別所 所長 内田 桂子

下関市こども発達センター診療所 所長 大賀 由紀

※ 託児室あり(要予約)